

改革。そして 成長。

上越市政対策委員

長崎 ながさき やすふみ

特集



日本維新の会 は、長崎やすふみさんを上越市政対策委員に任命しました！

今、時代は様々な意味で転換期を迎えています。日本狭しと言えども、地域それぞれの文化・歴史があり、暮らしがあります。今までこの地域を支えてくださった、ご年配の方々がこれからも安心して暮らせる環境を整備することは喫緊の課題です。コミュニティの希薄化、人との繋がりが希薄化する環境において、上越市では長崎さんが今までになかった取り組みをしっかりと地域の方々へ繋げます。誰もが不自由なき生活が実現できるよう、長崎さんがこれからの上越市において、特に郡部で生活を余儀なくされるの方々へ、全力でサポートいたしますので、ご期待ください。



応援しています。

日本維新の会 共同代表 吉村 洋文

長崎 やすふみ 3つの提言

上越の海の幸、漁業を守る！これからの《スマート漁業》を。

1

規定量数よりも取れすぎた魚や、たまたま取れた魚などの、市場に降ろしても値が付かない水産物をサブスクリプション方式「月額、年額の定額プラン」で直接消費者にお届け。インターネットなどを使い消費者にお届けするまでを市がサポート。

貴重な水産資源を守り、ロスを防ぎ、自由度の高い新事業開発へと繋げます。

上越の郡部にお住まいの地域の生活を、 しっかり守る！《移動販売》を。

2

上越市においても高齢化が進み、買い物に行くのもひと苦労。こんな言葉をよく耳にします。そこで私が考えますのが移動販売です。主に上越市で取れた水産物、農作物、調味料などの生活必需品を週2~3回のペースで各地区へ伺い、お届け致します。地元で採(獲)れた物を自由に選び、手に取るといった、地元循環型の消費スタイル。地元の生産者と消費者が食で繋がる。長崎が実現します。

上越市の産業を持続可能に！ 《次世代の担い手発掘、そして育成》を。

3

産業に携わる方々の高齢化の影響及び、若者の都市部へ人口流出(社会減)による後継者不足、結果として廃業を余儀なくされている家業、産業、そして伝統業。ニーズがない、時代に即していない。そのような一時的な価値観で、無くしてはいけない産業が上越市には沢山あります。

上越市が次世代の担い手を探されている方と、担い手になる方へ向けた持続可能なサポートを長崎が繋げます。

profile 上越も、改革 そして 成長。

長崎 やすふみ (Yasufumi Nagasaki) 1986年1月19日 生まれ

【職歴・主な活動など】

- ・サマリタンズ パース(ボランティア団体)
東日本大震災にて、倒壊した家屋などの修繕及び撤去作業に従事。
- ・石巻漁港で、漁師を経験。

【趣味】・食べ歩き・サウナ

- ・ボランティア活動
- ・政治関連のニュースウォッチング

【維新スピリッツを上越でも実行!】

- ・まずは自ら、身を切る改革を断行。
- ・財政のムダを徹底追及。確保した財源は、子育て支援、教育費補助、未来への投資を。
- ・漁業・農業・畜産業をしっかり守る。
- ・過疎地域の高齢者を守り抜く施策を実践。

【尊敬する人】・両親

連絡先 cell : 090-6064-8068 e-mail : yasufumidesu6119@icloud.com